

校長室便り

牛島小学校

9－1号



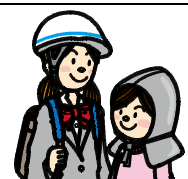
9月13日（日）には、本校で防災訓練が予定されています。この機会に次のことについてお子さんも含めてご家庭で話し合ってください（裏面に解答例等を掲載）。参考にしてください。

Q1：南海トラフ地震は、およそ何年間隔で発生し、今後の最新発生予測は、どれくらいでしょうか？

- およそ（ ）年間隔で発生
- 今後、（ ）年間に（ ）％～（ ）％程度の確率で発生

Q2：地震発生時、家族が別々の場所にいたり、離ればなれになったりした場合、合流場所（避難場所）はどこですか？

- 第1候補場所 （ ）
- 第2候補場所 （ ）



Q3：地震が発生し家屋が倒壊しましたが、あなたは屋外に出ることができました。さてあなたは、はじめの10分間に何ができますか？発達段階に合わせて考えましょう。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

Q4：非常持ち出し袋に入れておくべき物を5つ以上考えて優先順位を付けてください。

- | | |
|---|---|
| ① | ⑥ |
| ② | ⑦ |
| ③ | ⑧ |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

【解答例等】



Q 1 : (政府地震調査委員会によると)

○南海トラフ巨大地震 100 ～ 150 年おきに発生。
 ○30 年以内に 60 % ～ 90 % 程度の確率で発生。
 ＊近年では、1946 年 12 月 21 日 昭和南海地震 (M8.0) が発生。被害は中部以西の日本各地にわたり、死者・行方不明者 1443 名 (高知県 679 名、和歌山県 269 名、徳島県 211 名他)、家屋全壊 11591 戸、半壊 23487 戸、流失 1451 戸、焼失 2598 戸。津波が静岡県から九州にいたる海岸に來襲、高知県・三重県・徳島県沿岸で 4 ～ 6 メートルに達しました。

Q 2 (解答例)

○第 1 候補場所・・・○○学校
 ○第 2 候補場所・・・○○公民館
 ＊市避難指定場所が遠方の場合、とりあえずの避難場所として近隣の公共施設も考慮してください。また、複数の場所想定がかえって混乱を招くと考えられる場合、1 カ所に絞ってください。

Q 3 (解答例)

優 先	すること	備 考
1	自身の身体の状態確認	自身が元気でなければ他者を支援できない
2	家族の安否確認	緊急応急手当・救援要請の必要性確認
3	近隣住民の安否確認	緊急応急手当・救援要請の必要性確認
4	持ち出し物品の確認	今後の避難生活に備える
5	周囲の被害状況確認	
	避難開始	



Q 4 (解答例)

優 先	入れるもの	備 考
1	水・非常食	すぐの生命維持
2	スマホ充電・ライト・電池	連絡と夜間安全
3	身分証・現金・マイナンバーカードの写し	手続きや受診で困りにくい
4	常用薬・眼鏡・衛生用品等	生命・身体安全に関わる個別対応
5	携帯用トイレ	
	その他	